

◆◆在宅医療やケアに関するアンケート◆◆

I. 在宅療養支援やケアの現場で困難に感じておられることをご記入下さい。

- ・最近、身寄りのない方への支援が以前より増加してきていることから支援の困難性を感じる
- ・ご家族が他県におられる方で、ご家族との面談や方向性の確認など、調整に時間がかかる事例が増加している。
- ・病棟から急な依頼が多く、状態やパーソナリティ、家族状況等が把握しきれないまま在宅関係者へ連絡しなければならない。
- ・退院されたあと、どう過ごしておられるかを知る場が少ない。
- ・お金がない家、一人暮らし、家族関係が悪い家庭、入院中に寝たきりになり、かつ介護認定が未申請な患者などを在宅に帰すときに社会資源が少ないため困難を感じる（受け皿がない）
- ・帰りたいという本人の思いと帰ってきてほしくないという家族の思い。老々介護への在宅支援や一人暮らし。精神疾患患者の在宅支援。
- ・少子高齢化による在宅ケアできるマンパワーの不足。
- ・病院医の考え方がさまざま。独自の思い入れがあるもしくは、認識のない医師への対応が難しい状況がある。
- ・自宅で介護すると決められてもデイやケアマネなどサービスが不足（使えない）することがある。
- ・訪問看護ステーションの数が足りないと思う事がある。
- ・医療に詳しくない社会福祉士が詳細な医療情報を伝えることに限界を感じる時があります。
- ・独居、老々介護、経済的な問題など入院により表出してきます。できる範囲で支援させていただいていますが福祉資源が枯渇しそうでおそろしいです。

II. 医療(病院・開業医・薬剤師・訪問看護など)との連携で困難に感じておられることをご記入下さい。

- ・本人の病状や家族の考えと、受け入れ病院等の条件があわず決定するまで時間がかかる事例もある。
- ・連携はとれていると思う。
- ・在宅医療を引き受けてくれる Dr が少ない。
- ・在宅訪問診療（7 か所）できる開業医に対し依頼がかたよってしまう。どのように工夫していけばよいか。
- ・顔の見える連携、お互いの仕事（特徴）を理解していくことができていない。
- ・訪問診療可能な先生が少ない。
- ・地域によって在宅がおられずスムーズに在宅療養へ移行できないこともあったが、現在ほとどの地域でも連携がとれている。
- ・皆さんにはたいへん協力していただいております。特に問題はありません。
- ・開業医先生には多数在宅療養や介護に連携している方はいるが、一部の病院

系の Dr は在宅との関わりを持つことに消極的に感じる。病院職員の在宅介護や在宅療養に関することに興味を持たない。

- ・カンファレンス（退院）寺、もっと在宅関係者への助言がほしい。

Ⅲ. 他の職種との連携で困難に感じておられることをご記入下さい。また、誰(どの職種)に何を要望するのか等についてもご意見等があればご記入下さい。

- ・まれにケアマネさんの考えが強く、本人、家族が十分に本音を言うことができない事例もあることから、十分に話を聞いてあげてほしい。
- ・ご家族と一緒にあって、どこか（入所、入院先を）探してほしいと言われるケアマネジャさんがいらっしゃる。在宅関係者のほうからそれを言われてしますととても困ります。
- ・HP、他 HP、居宅、包括、事業所などを含めて月に 1 回は地域ケア会議を行っているので、情報共有はしやすい。
- ・看護師ではないケアマネジャと話をする時、どう説明したら理解して頂けるか…考えさせられる。
- ・本人や家族の思いよりケアマネジャの思いが優先されて話が進められている時…あれ？と感じる。
- ・ケアマネジャ：日常どのような学習をしているのか、知りたい。「マナー」「コミュニケーション」「家庭医学のレベルの知識」
- ・ケアマネジャ同士の協力体制、指導体制の充実を望む
- ・ケアマネジャの中に「医療のことが全く分からないので…」と普通に言う人がおられ、情報も得ようとしない人がいた。今後とても不安にあった。というか悲しくなった。
- ・ケアマネジャが入院中の患者の退院について日時の問い合わせとしてこれらることがある。家族にも説明されていない時期にケアマネジャには伝えられないと答えている状況。病院に面会に来られるなら連携室の同席は可能。

Ⅳ. 新川地域在宅医療療養連携協議会に期待すること、また、その運営方法等に関してご意見があればご記入下さい。

- ・協議会で検討されたことを、学会等で発表して頂き、発信して行ってほしい。
- ・他市町村との連携がとれていない。また交流が無い。(研修会などでは、かたくなりすぎるかもしれません)
- ・がん患者の在宅支援に協力してほしい。例えば検討会等への参加など。
- ・がん患者の在宅療養支援事例検討会に参加してほしい。
- ・在宅医が増えればありがたい。
- ・医療機器関係と在宅サービス関係者との連携が図れるようなシンポジウム等の集いを作してほしい。

Ⅴ. コメディカル部会に期待することをご記入下さい。

- ・関係者で連携を密にされ、顔の見える関係で在宅支援をしていただきたい。
- ・総合病院に改善要求をするばかりの会にならないでほしい。

- ・ ざつくばらんに話しあえる会になってほしい。
- ・ どんなどころか部会にも参加してみたい。
- ・ お互いマンパワー不足であり、余力のない中で連携されているものと思っています。勉強不足の解消のためにも皆さんからの専門職としての知識を分けていただきたく思います。
- ・ 病棟向けの宣伝パンフ、冊子等があれば…。

VI. あなたの業種（所属）と職種をご記入下さい。

◆業種(所属) 1-3 地域医療連携室 _____

◆職種(資格) 1 看護師 10 社会福祉士 10 件 _____

ご協力ありがとうございました。